

カーボンニュートラルエコツアー添乗報告

天ぷら油リサイクルバス「そらべあ号」で九州 1941km 走破

添乗 高橋 美香

11月15日 一日目 (新宿～東近江 愛東エコプラザ～京都 関西セミナーハウス 計 528km)

空が高く、天気の良い一日の始まり。天気予報では、雨は西からやって来ているとの事。

これから西に向かって進む「そらべあ」号としてはちょっと心配ですが、まずは元気よく出発です！本日は東名高速をひた走り、名神高速にのって京都まで向かいます。

天ぷら油リサイクルバスの「そらべあ」号はどこに行っても注目の的。最初のサービスエリアでは、隣に止まったバスの運転手さんが不思議そうに「そらべあ」号の横に書かれている文字「天ぷら油で走ってます」を何度も見ていました。

そんな天ぷら油リサイクルバスの中では、VDF（BDF）について講義がスタートです。なかなか聞けない製造者の方のお話を、まさにそのバスに乗って聞ける！皆さんからの質問も多く、昔からある廃油回収

そうこうしているうちに、最初の立ち寄り地、滋賀県の愛東エコプラザに着きました。こちらでは菜の花をモチーフにした建物の中でBDFの説明をしていただき、施設を見学しました。BDFのプラントのみならず、色分けされたビンや発砲スチロール等の回収されたリサイクル原料もあわせて見学。

そして「そらべあ」号に給油です。給油を間じかで見れるチャンスに参加者の皆さんも興味津々で覗き込みます。給油を済ませ、たたずむ「そらべあ」号。今度は他のバスで来た観光客の方々が取り囲みます。やはり、天ぷら油で走っているのは不思議との事。インパクトありますよね。 愛東エコプラザを後にして、一路京都へ。

京都では、京セラ株式会社ソーラーエネルギー事業本部からお越しの酒井さん、気候ネットワークからお越しの豊田さんを中心に、トークセッションが行われました。

京都では幼稚園の園舎にソーラーパネルを設置する等、取り組みがなされています。

交流会の場所ラジオカフェは雰囲気のあるカフェで、京都の方々と話も弾みます。ソーラーパネルや次世代エネルギーの話をしつつ美味しい料理とワインに舌鼓です。

最後に全員で「そらべあ」号と一緒に写真をとって本日はお開きとなりました。



11月16日 二日目 (京都～門司港 めかり山荘泊 計 599km)

昨夜宿泊した関西セミナーハウスは紅葉がとてもきれいな場所でした。少し早起きをして周辺を散歩すると赤や黄、橙の色とりどりの葉が朝靄につつまれて、幻想的な美しさ。

天気は少し下り坂ですが、バスで西へ走っている間に雨が東に行く事を祈りつつ出発です！

本日は名神高速、中国自動車道、山陽道を通り一気に九州まで入ります。

「そらべあ」号は所々で雨に遭いながらも、順調に九州へ向かいます。

途中のお休み場所を選ぶのに、せっかくなら・・・と言う事で、SAから何と宮島が見えるらしいと噂の宮島SAへ。広島ではおりませんが、SAから宮島が見られるなんてちょっと得した気分です。

宮島が見られそうなスポットをウロウロ、ウロウロ、残念ながら雨混じりの雲の多い今日は宮島かも知れない場所しか見る事ができませんでした。残念。

後ろ髪を引かれながら、「そらべあ」号は、なおも九州へ向かいます。

腕利きドライバーの前川さんのお力もあって、予定より早く関門海峡に差し掛かります。

ちょうど夕焼けの頃。橋の上からの夕焼けは美しいの一言でした。

橋を通り、門司へ。早く着いたなら、やっぱり散策しないともったいない！という事で

荷物を置いて即集合。ノルディックウォーキングのストックを持ったり、走る練習をしたりしながら今わたったばかりの関門海峡を今度は門司側から自分達の足でトンネルを通り渡ります。トンネルの両端には謎のスタンプが。門司側で押してみると変な半月型です。

訳もわからず、反対側へ行くと・・・ありました。またも半月型のスタンプが。両方あわせると港と船の絵が浮き出る仕組み。なるほどです。トンネルは歩行者用になっており、沢山の方がランニングをしていました。また、台湾からの観光ご一行様に遭遇！ちょっとした交流も出来ました。



11月17日 三日目 (門司港～北九州エコタウンセンター～篠栗町(亀乃屋泊) 計121km)

天気はよくもってくれています。朝は曇っていましたが、やはり雨は昨日中に東に抜けたようで徐々に青空が見えてきました。

本日は北九州エコタウンを訪問後、今回のメインイベントでもある「森林スポーツフェスタ 2007 in ささぐり」の会場でもある篠栗へ。

朝、北九州エコタウンをご紹介くださる北九州市 環境局の加茂野さんと合流し、まずは九州についてのお話。山口県との電圧の違いからくる電車の乗り換え等を参加者一同話しながら聞いた後、次は北九州市についてのお話です。元々工業地帯だった北九州市が公害を経て環境に配慮した街づくりをしていく経緯を知ると現在行われている「資源循環型社会の構築」という目標にも大きく頷けます。

そして、北九州市エコタウンに到着です。百聞は一見にしかず、という事で見学した風車は思いの外大きく堂々としており、一斉に回転しているその姿には圧倒されました。

北九州市エコタウンを満喫して、いよいよ大会会場のある篠栗へ。

篠栗では、巨樹巨木観察が行われました。巨樹巨木はもちろんですが、そこに至るまでの道のり、森林インストラクターの方が色々な説明をしてくれます。例えば、バリバリ音のする葉を持つのはバリバリの木。クサイ臭いのする葉を持つ木はクサ木など、面白い名前に子供達だけでなく大人もちょっと笑ってしまいます。それだけ身近に森林や木があったからこそその名前では、などと考えつつ、樹齢2000年といわれる大和の森の杉にご対面です。その大きさには子供達だけでなく、大人も思わずうなります。

森林浴をしてストレスも吹っ飛び、夜は明日の大会に向けて前夜祭です。

前夜祭では、今回の大会にゲストでいらっしゃったニュージーランドのコロさんと協賛いただいているニュージーランド政府観光局のカイリさんより嬉しいサプライズが。お二人のマオリの伝統的な唄を聞かせていただきました。



た。迫力のある力強い歌声は言葉が解らずとも心に響きます。

11月18日 四日目 8亀乃屋～森林スポーツフェスタシャトルバス～門司港 計 93km)

さて、大会当日です！いよいよ「スポーツフェスタ 2007 in ささぐり」が始まります。

天気は良いものの風が強いのが難点です。ゼッケンや受付用紙が風に飛んでいます。強い風も、開会式には弱まり、いよいよ皆さんスタートです。今回の大会では前日の巨樹巨木観察も含め、約 800 名の方々がエントリーなさっています。過去最高のエントリー数です。

種目は森林マラソン 3 キロコース、10 キロコース、16 キロコース、森林浴ウォーク、ノルディックウォークです。併せて記念植樹も行われました。

無事、大会も終わり、「そらべあ」号は一路門司港へ。門司港からはフェリーで神戸へ向かいます。ちょっとフェリーを馬鹿にしていた我々ですが、大浴場にメニュー豊富なレストラン、衝撃的でした。参加者の方々と一緒にレストランから美味しそうなおつまみや、おかずを次々持ちより団体部屋の真中に円を描いてちょっとした宴会です。「こうやって皆で話しながらワイワイできて楽しいわ」なんて声が聞けて嬉しい限りです。

11月19日 五日目 (神戸港～油藤商事～新宿 計 600km)

明け方、フェリーは時間どおりに神戸に到着しました。寒いなか甲板に出て朝日を見ながらの到着です。

神戸では、神戸おもてなしクラブの皆さんが早朝にも関わらず朝ミーティングに集まってくださいました。神戸での **KOBEST 2007** の取り組みである地元の方々主導のツアーやエコロジー燃料を使って走るタクシー、また、誰でも気軽に乗れる、ちょいのりバスのお話を聞くとともに、ワークショップ形式で交流会が行われました。力を入れすぎないエコロジーのあり方や市民主導である意味、また、神戸のゴミ回収の方法まで幅広く意見が交換されました。地域ごとで行われている多種多様な試みの意見交換する事によって新しいアイデアに変えていく一種の工場のような交流会でした。

さて、本日は最終日。神戸を出た「そらべあ」号は、途中で滋賀の油藤商事さんで給油をして東京に向かいます。油藤商事さんでは、何とテレビ局の撮影が行われていました。やはり今、BDFは注目の的なんですね。BDFの説明ももちろんですが、驚いたのはその多岐にわたる回収物。家庭から出る廃油はもちろんの事、ペットボトルにアルミ缶、鉄缶、あらゆる物を回収しています。捨ててしまえばただのゴミですが、ここではそれらがきちんと材料として生まれ変わっていました。

今回の旅行も大詰めです。酒蔵でもあるお食事処でお昼ご飯を食べました。酒蔵だけあってとても赴きのある建物にのんびりとした時間が流れます。鍼のしっかりした蔵には多くの酒瓶が詰まっていた。十分に堪能した後、一路東京新宿に向かいます。

そして、とうとう新宿に到着です。参加者の方々と共に走ってきた「そらべあ」号ともここでお別れです。

今回ご協力いただいた、各地の協力団体の皆様、安全に私たちを運んでいただいたドライバーの方々、そしてなによりこのツアーにご参加いただいた参加者のみなさま、ありがとうございました。

次回、開催予定の北海道スポーツ森林フェスティバルのツアーで、是非またお会いできる事を楽しみにしています。

